

平成 29 年度 第二回 日高市公共施設再編・最適化の検討 に関するワークショップを開催しました。



- 開催日時 平成29年7月12日（水）
- 参加者 25名
- 会場 日高市役所 3階301会議室

🌞 今回のテーマ

公共施設のあり方(つかい方)を考える

7月12日に第二回目のワークショップが開催されました。今回は25名の市民の方にご参加いただき、「公共施設のあり方(つかい方)を考える」をテーマに、前回検討を行った際に挙げたキーワードを更に掘り下げて意見出しを行いました。



冒頭では、昔の施設の写真を見ていただき、ウォームアップクイズを行いました。



検討の様子

前回の検討内容をもとに、各検討グループでそれぞれで掘り下げたいキーワードを3つに絞り、市の公共施設の「課題」「大切なこと」「将来のつかい方」について考えていただきました。観光や施設のつかい勝手について扱ったグループが多かったようですが、共通のテーマから、それぞれ異なる視点での意見が挙がっていました。今回のテーマである公共施設のつかい方は、次回から具体的に検討を行う【再編・最適化】について考える上で大切な土台です。全4グループで挙げた意見を次項以降にまとめました。

☀ 今回のワークショップで挙げた主な意見



観光客が沢山来ることで、市民が豊かにならなければ意味がありません。生活道路が確保されていること、また日高の商店・飲食店が潤い、雇用が生まれることで、市民が市内で働けるようになればよいです。
また、自然に囲まれた日高市は、子育ての適地としてもっと魅力を引き出せるはず。柔軟に利用できる子育て施設があるといいですね。

テーマ

観光施設

配置と使い勝手

子育て施設

A	課題	大切なこと	将来のつかい方
観光施設	<p>リピーター確保 せっかく人が集まる場所なので呼び込むような努力が必要 トイレの設置、管理 観光テーマにパンチがない 資料館が小さい、また手入れ不足である 観光客が曼珠沙華の時期に集中 ⇒エリア、時期の平準化を 巾着田の活用、周辺の飲食店・商店 アリーナ：せっかくの建物に対し、価値が生み出せていない 交通(足)の確保</p>	<p>地形・景観への教育・解説 マナー 自然環境 一年を通して楽しいことがあること まずは日高市を知ってもらう事、興味を持ってもらう事 もっとすごいテーマを作る その時代で何を便利とするか、どんな機能が必要かを見直す 交通渋滞しない(特に観光地)、住民の生活の支障とならない 自然をそのまま利用 ⇒食事等は周辺の個人商店などの協力をあおぐ</p>	<p>ビジターセンター設立 エリア全体がエコパーク化 考えや方向性、目標を定期的に変えていく 時代にのつとったイベントを作っていく。 観光施設を幅広い年齢層に使ってもらえるように 安全であること 働き場になる</p>
配置とつかい勝手	<p>インフラの整備 交通確保 現状維持しかしていない 6地区にひとつおりの公共施設あるが孤立的な運用 3地区の歴史を踏まえ、地域性を活かしたネットワークづくりを</p>	<p>地区の中心以外からも行ける交通手段がある 交通渋滞をしない事 車道と歩道をしっかり分ける バスなど利用 誰でも使える、車イスでも使える施設 アリーナの活用 ⇒市内外からの人を呼べるイベントを定期的に立ち上げる そこに行けば色々用が足りて楽しめること 利用者の増加 利用者と管理者が話し合える場がある</p>	<p>渋滞の緩和 歩行者の安全 バスの本数を増やす 歩道が広い 歩道中心の設計(段差がない) 災害時のサポートセンター 再編・最適化のすすめ方: ⇒施設管理者、施設利用者、地域住民の3者の継続した協議会が大切</p>
子育て施設	<p>自然はあるのに、子育ての適地として人を呼ぶ力が無い 子どもが安全で母もゆっくりできる施設 公民館の利用 原っぱ、フリーパークがない 子どもが自由に使えるところがない 音がもれてうるさがられる 各地区で偏りがある</p>	<p>ルールばかり押しつける公共施設はいらない 自然があって、なおかつ子育てサポート充実 企業と業務を提携 ⇒施設・行政・企業が連動したものを作っていく ボランティアの活用</p>	<p>あらゆる世代が支え合い交流する 自然のなかでの「子育ては日高で」が定評となる 結婚支援、出産支援、子育て支援の3本軸ですすめて、市民を増やしていく 自然環境で遊ぶための拠点としての子育て施設 有休農地の活用</p>



全ての公民館への身障者トイレの設置と、観光地はトイレの美化が必要だと考えます。また、エレベーターが無い公民館で2階でしか利用できないサービスがあります。誰でも利用できる施設としての機能が必要です。住民一人一人のニーズに応えられる施設を考えなければなりません。また、施設を統廃合する際は、用途に限らず機能をまとめてよいと考えました。

テーマ

使いやすい施設

コミュニティの場

施設配置

B	課題	大切なこと	将来のつかい方
つかいやすい施設	屋根付、身障者駐車場を作る、雨でも利用できるように 利益や効率性を求めない施設運営 施設活用付帯設備は、柔軟に活用できるように(駐車場など) 市全体にわたるトイレ問題、観光地としても解決すべき 施設の老朽化 駐車場の整備 買物、病院通院の外出支援 公会堂・自治会館を、誰でも利用できるつくり	年寄りを家に閉じ込めない 年寄りを大事にしよう 観光地にふさわしいトイレとしてきれいにすべき 修繕か新築か 施設の目的の確認 既存施設の活用 統合も視野に 地元産業との連携 地域の特徴を生かした施設	身障者トイレを全公民館に設置 エレベーターの設置、荷物を上げやすく 車イス、杖でも利用しやすいように 空き部屋の有効活用 駐車場スペースを柔軟に使える施設に
コミュニティの場	高齢者に利用しやすい公共施設 世代間交流 共有する文化(伝統の継承)	年寄りが外出しやすいようにしていこう 高齢者の安否確認→地域住民の支え合い 地域住民が知り合う機会のサポート みんなで明るく仲良く元気に使おう! お年寄りから赤ちゃんまでいつでも誰でも利用できる 日高市のまちづくりとの観点で個々の問題を捉えるべき	シニアサロン活動への支援 誰もが安心して利用できる施設 ⇒ハード・ソフト両面で、ついでに費用面も 一大公共施設集合地
施設配置	小学校・中学校単クラス(高麗、武蔵台) 小学校・中学校空き教室(高麗、武蔵台) 重複施設の統合 維持費の縮減 立地の再考	地域性の差、コミュニティ 高麗公民館→13分館、武蔵台公民館 →2自治会 住民の理解 利用者による施設の規模を再考する	保育所→小学校→中学校 たての一体化可能 地区統合の横の一体化は抵抗が大きい グラウンドの活用(小学校)、(小中一貫)



適切なサービスを受けるためには、まず情報を得ることが重要ですが、日高市は市に何年在住しているかにより情報格差があるように感じます。どこで情報を得ることができるのかを明瞭にし、整理する必要があります。
また、資料館について、高麗古民家と統合したらどうかという案がありました。

テーマ

使い勝手

行政サービス

観光

C	課題	大切なこと	将来のつかい方
つかい勝手	<p>電子化(IT)の導入の順番 住民サービスの電子化</p> <p>どんな公共施設があるかわからない 転入者にわかりやすいように 情報の格差がある 自治会に入るか否かは地区毎にちがう</p> <p>空き教室と行政の一体化</p>	<p>導入しやすいようにする 市内公共施設の予約ができない 市立図書館、学校図書館のネットワーク化がされてない 速達性を図ることは命を守る！</p> <p>バスの運行をリアルタイムに把握 避難場所間の情報交換</p> <p>人口が減っても工夫でのりきる</p>	<p>年代別にやり方、紹介方法をかえる 情報を整理する 施設の使い方、案内(動画提供) 高麗郷古民家が日高の目玉になるように！ 各施設とのネットワーク化 公共施設の位置図と紹介案内をつくる(ホームページに公開) IT革命が進めば公民館の統一、コンパクトに！ 地区毎に小さな拠点づくりを 移送サービス 夜間緊急対応</p>
行政サービス	<p>警察署が日高にない 1つの市に1つの施設がないのはおかしい 広域連携⇒必要な施設はつくるべき HPが分かりづらい 住民サービスの電子化 行政サービス周知 6公民館の共用紙(部屋取り) 子育てしやすい自然がある</p>	<p>スマホで公民館予約が出来るように！ ミニバスの運行を 豊かに生活できること サービス内容の絞込み 自宅で医療相談 財政を考えること 産業をおこすこと 安全・安心 日高市の中でもうけること</p>	<p>24時間サービス 行政のやることに対して住民が協力すること お金の使い方を工夫する 在宅医療、健康相談が自宅で受けられる 大切な施設はつくるべき 社会基盤はもうよい⇒市の支出を少なく 子育てしやすい自然がある みんなで使うようにする 新規転入者への案内ガイドをつくる(ホームページで公開)</p>
観光	<p>民族資料館と高麗郷古民家の合体 リピーターの確保 ベンチマーク、他の地域のマネ 観光客の本当のニーズをさぐる！</p>	<p>ストーリーを作る 観光資源の活用 リピーターを増やす 行政もサービス精神を！</p>	<p>移住者の増加(魅力) 来訪者の分析する 日高市を中継地点に リピーターの確保⇒案内 教育できる施設、ソフトを！ 売り上げを出すことで更なる発展を図る</p>



日高市は観光資源はあるが、活用できていないように感じます。市で収益を上げて、観光施設の質を上げることはできないか。景観は市の宝なので、商業と観光の住み分けを行い、守っていく必要があると思います。自動巡回バス等、日高市が先進事例となれるものがあるとよいですね。

テーマ

再利用

新規利用

観光資源の活用

D	課題	大切なこと	将来のつかい方
再利用	人口の増減と年齢層の変動 市民活動支援センターへの再利用 空き教室 情報の可視化 ⇒例えば・施設の利用状況・人口(動向・配置)・ 交通(道路・鉄道・バス)・地形(河川、危険) 特定の施設のあり方(農研) 不要なハコ物とは？	情報の可視化 民間への開放 住民の為になること 公・民連携 市民のニーズに対応すること	地球にもお金にもエコ 子供と高齢者が学校を使う ソフトに行うダウンサイジング 企業の増加 出張所として利用 集中と選択
新規利用	パソコンの教室を続けてほしい 他市町村に比べ児童館の不足 小中公民館の地域別統合	交通の利便性 利便性の減少を防ぐとは？ 住民が歩いて行ける所がいい 情報の可視化 将来の生産人口を増やす この地を好きになってもらう(住みやすい)	市内を3ヶ所に分けて集中と選択 住民どうしネットでつながる 空き教室又は公民館を多様化 自動運転巡回バス
観光資源の活用	高麗の歴史 観光資源の創造 観光資源のブランディング(高麗郡関連) 『遠足の聖地』さらに進めること 駅からのアクセスを改善(歩きにくい道) ハイキングの休憩所が欲しい BBQの放置 巾着田に来る人に日高で買い物して欲しい	産・官・民・学の連携 収益につなぐ努力 商業施設と自然のバランス 来訪者の満足と地域の活性化 住民との共栄 市民が優しい、他市民にも優しいまちでありたい BBQを資源と考える JAや近くの農家の出張販売 自分達のアイデンティティーを知ること	BBQは企業と連携 公共施設を外貨をかせぐ施設に(アグレッッシュみたいな) 歴史観光、歴史公園・・・ETC 休憩所の新設 巾着田に来た人達のごみ処理が適切になされる 景観条例で市の宝を守る